

JIS 建築用鋼製下地材(壁・天井) (抜粋)

1. 適用範囲

この規格は、建築物の主として屋内に使用する鋼製下地材の壁用鋼製下地材(以下、壁下地材という。)及び天井用鋼製下地材(以下、天井下地材という。)についてに規定する。

備考1.この規格の引用を、次に示す。

JIS A 1414 建築用構成材(パネル)及びその構造部分の性能試験方
JIS A 6901 セっこうボード品
JIS B 1115 すりわり付きタッピンねじ
JIS B 1122 十字穴付きタッピンねじ
JIS B 1125 ドリリングタッピンねじ
JIS B 7503 ダイアルゲージ
JIS B 7507 ノギス
JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
JIS G 3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯
JIS G 3505 軟鋼線材
JIS H 8610 電気亜鉛メッキ
JIS H 8625 電気亜鉛メッキ及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜
日本農林規格普通合板

2. 鋼製下地材の名称

壁下地材及び天井下地材の構成部材及び附属金物の名称は、図1及び図2の例のとおりとする。

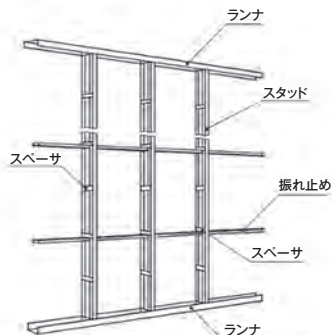


図1. 壁下地材の構成部材及び附属金物の名称

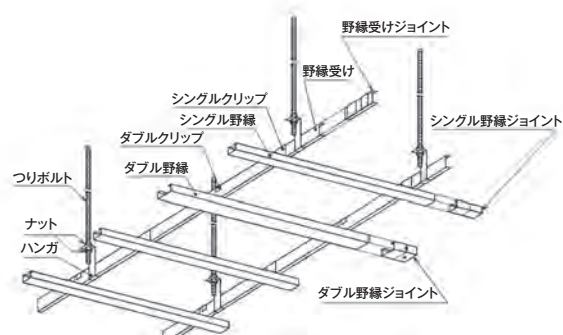


図2. 天井下地材の構成部材及び附属金物の名称

3. 鋼製下地材の種類

鋼製下地材は、使用用途によって壁下地材と天井下地材とに区分し、壁下地材及び天井下地材の構成部材及び附属金物並びに構成部材の組合せは、次による。

表1. 壁下地材の構成部材の種類

鋼製下地材	構成部材の種類	記号
壁下地材	スタッド	WS-50
		WS-65
		WS-75
		WS-90
		WS-100
	ランナ	WR-50
		WR-65
		WR-75
		WR-90
		WR-100
	振れ止め	WB-19
		WB-25

表2. 壁下地材の構成部材の種類

鋼製下地材	区分記号	構成部材の組合せ
壁下地材	50形	WS-50、WR-50、WB-19及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが2.7m以下のもの。
	65形	WS-65、WR-65、WB-25及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが4m以下のもの。
	75形	WS-75、WR-75、WB-25及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが4m以下のもの。
	90形	WS-90、WR-90、WB-25及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが4.5m以下のもの。
	100形	WS-100、WR-100、WB-25及びスペーサを組み合わせたもので、スタッドの長さが5m以下のもの。